



No. 38 2022. 3. 1

発 行：壱岐市PTA連合会

構 成：広報部

住 所：芦辺町中野郷西触362番地

電 話：0920-45-3713

E-mail : iki1625pta@gmail.com

石田小学校では授業参観、広報誌づくり、食育講演会などのPTA活動を行っています。その一つである「石田っ子ひろば」では、土曜日に子どもたちが学校に集まり、スポーツやゲーム、昔遊び、読み聞かせなどの活動に自由に参加しています。

そこでは、保護者や地域の方が交代で見守りや講師の役割をして、子どもたちと触れ合います。先生方の参加もあります。この活動は、家庭や地域、学校が子どもを共に育てるよい機会となり、学校教育目標である「心豊かで、たくましく、確かな学力を身に付けた児童の育成」の実現につながっていると思います。

石田小学校PTA



保護者の方と将棋



竹馬にも挑戦



あいさつもしっかりします

初山小学校では、地域の皆様との交流が盛んに行われています。学校支援ボランティアやJA青年部の方々のご指導・ご協力を得て6月に田植え、10月に稲刈りを体験することができました。いきっこ留学の子どもたちは、初めて体験することばかりでしたが、とても積極的に活動し、5・6年生みんなで協力することもできました。



12月には小学校・保育園・地域の皆様と一緒に餅つき大会を行い、楽しく過ごすことができました。コロナ禍で思うような活動は中々できませんが、地域密着で今後も継続して活動していきます。

初山小学校PTA

『目 次』

- P 1 … 表紙／PTA活動紹介
- P 2 … 研修部・母親部合同研修会
- P 3 … 日P・九P北九州大会
- P 4 … 壱岐市PTA研究大会
- P 5 … 市P研究大会講師インタビュー・アンケート結果
- P 6 … PTA活動紹介／編集後記

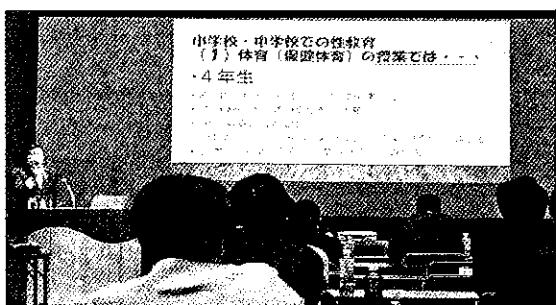
令和3年度 壱岐市PTA連合会
研修部・母親部合同部会 講演会
演題「家庭でできる性教育」
講師：助産師 山内やいり先生

講演に先立ち、箱崎小学校の吉田教頭先生から教育現場で学年毎に教えている性教育の内容をしきチャーミングいただきました。下の表が指導内容です。

保健の学習も仰ねて、壱岐市教育委員会では「性に関する学年別指導計画」を作成しています。前回、両部会で提案のあった活動テーマ「性教育」について、壱岐市在住の助産師 山内やいり先生を講師にむかえ、「家庭でできる性教育」について講演していました。まだきました。まず、性教育ってなんだろう? なんで親が性教育をしないといけないのか? 不安に思っている事などについて3~4人一組の合計十組に分かれ性教育について討議した後、それぞれのグループの代表者が発表しました。

- ・インターネットで色々な情報を得ることができるため、子供もが間違った認識をもつと困るので親子で研修会があつたらよい。
- ・性について話すと逆に興味をもひき起さるのではないか?
- ・子どもがまだ性について興味がないだうと思ひ込み、話していない。

小学校・中学校での性教育 保健体育で学ぶ学年別指導計画	
小学3年生	知らない人についていかない プライベートゾーンについて
小学4年生	思春期の身体の変化 ・体つきの変化・初経・精通など・異性への関心の芽生え
小学5年生	病気の予防について理解する 異性に対する理解や思いやり
小学6年生	病原体が主な要因となって起こる病気の予防 エイズの情報
中学1年生	健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。 エイズ(性交渉による感染症である事を学ぶ)
中学2年生	男女交際(性行為に対する正しい認識) エイズと性感染症 LGBT(性的マイナリティについて正しい理解と性差別をしない態度)
中学3年生	妊娠と出産 デートDV 望まない妊娠



今回の取材を通じ、性教育を家庭であるには難しい面があるかもしませんが、学校の性教育を変えるには、学習指導要領改訂への働きかけも必要でしょう。しかし、すぐに変わるものではないので自己防衛として正しい性教育の知識を、自分の子ども達に教えていくことが大切であることにぜひ、非常に学びの多い時間となりました。自分を守るために・相手を守るために・不幸にならないため、まず親である私達が正しい知識について学ぶことなどが必職だと感じました。

- ・ 外国ではどんな性教育をしているのか?
など様々な意見が取りあげられていました。
- 現在、日本の学習指導要領(小学校・中学校)では、妊娠過程については扱わないものとする文言がある為に、学校教育では「生殖」に関する一部だけの文脈でしか教えてもらつてしません。よへ性教育で言われる「寝た子を起こす?」は、早すぎるとの性的な関心が高い子供たちの性行動が早まるのではないか?と言われば、日本だけでなく世界中で懸念されてもおした。NEDOコネクツ(国際連合教育科学文化機関)が実際に「寝た子を起こす!」現象が起じるのかを題材として世界的な調査を行った結果、性教育は若年層の性行動を早めるのではなく、むしろ性行



第69回 日本PTA全国研究大会

第66回 日本PTA九州ブロック研究大会

北九州大会

「じりつ、創造、尊重、調和、そして成長」

～ひらこう未来のとびら・やっぱPTAっしゃ～

例年集会形式で開催されている日本PTA全国研究大会ですが、今年度は8月21日(土)に北九州国際会議場からオンラインで配信されました。

講演会はトークセッション形式で行われ、大きく分けて3つのテーマについてパネリストによる活発な討論が行われました。

テーマ①について

「教育とは」という問い合わせから始まり、パネリストからいろいろなキーワードが出てきました。一人一人がこれからの未来を生きる力をはぐくむことが大切だと話されました。

テーマ②について

事前に収録された対談の映像を見ながら、当日会場にいるパネリストが「今日の討論は正解を導きだすものではなく、いろいろな考え方を知る。」と言つたことを念頭に討論が進められました。その中でICTの導入は「教育格差」を本来なくすことが目的で、一人一台のPC(タブレット)があれば、どん

な場所でも世界中の知識に触れることができると話されました。

テーマ③について

今後のPTA活動において取り組むべき課題や、PTAの持続可能性にと未来像について議論を展開されました。

「How to」(やり方)ではなく「Why」(なぜ)を考えることが大事で、「なぜこうなのか?」が分かれば、個々に合ったやり方が見えてくると話されていました。

ここで「個々のシチュエーションにあつたやり方」が発想しやすくなるので、その温故知新の考え方で、このコロナ禍においても歩みを止めず進み続けるPTA活動を行うことが大事だと改めて感じました。

<講演内容>

トークセッション

テーマ①：「子どもの生きる力を育む学校教育とは」

ゲスト：木村泰子氏、工藤勇一氏、合田哲雄氏

スペシャルトークセッション

テーマ②：「子どもの生きる力を育む子育てとは」

ゲスト：EXIT氏、石戸奈々子氏

スペシャルトークセッション

テーマ③：「令和新時代におけるPTA活動と将来像について」

ゲスト：つるの剛士氏、レモンさん(山本シュウ)氏、東川勝哉氏

令和3年度

壱岐市PTA研究大会

日時：令和4年1月29日

場所：壱岐の島ホールからライブ配信

大会スローガン

「つながりあい、分かち合い、寄り添いあう PTA」

**学校・家庭・地域が連携した
PTA活動を目指して**

今、グローバル化、情報化、価値観の多様化など社会の急激な変化が進む一方で、ICTの活用などの教育諸問題への対応が求められており、子どもたちを取り巻く環境は日々変化しています。壱岐市PTA連合会は、会員の資質向上を目標とし、PTA活動を通じて充実した社会教育及び家庭教育の向上に努めるとともに、家庭・学校・地域との連携を構築して、現代社会に即応した活力のあるPTA活動を行っています。

会長あいさつ



*現代の子供たちが幼児化している。
事や発表の場が縮小・失われるなど子どもたちの教育環境に大きな影響がある

ありました。しかしながら、そのような状況の中でも教育現場はICTの活用など、変化に対応した体制をとっています。

今回リモート開催を行うことにより、日々の子育てに忙いみなさんにも参加していただける大会となりました。

講演

「コロナに負けない体づくり」

講師 理学療法士 杉野伸治 様

「自制心」
～目標達成のために必要な

生活習慣トレーニング～

*悪い習慣は2週間で身に付く
※習慣を修正するには3か月必要

*そのために必要なこと

- ・毎朝、学校へ行く時間に起床
- ・毎朝、学校へ行く時間に着替え
- ・ゲーム・スマホの使用を制限
- ・毎日、同じ時刻に入浴・就寝など

*朝食の重要性

- ・栄養として重要
- ・生活リズムづくりとして重要
- ・受け継ぐ文化として重要

*悪い習慣が身に付くのは、環境を作った親が悪い

*現代の子供たちが幼児化している。
事や発表の場が縮小・失われるなど子どもたちの教育環境に大きな影響がある

ますか。

「大人が変われば子供が変わる。」

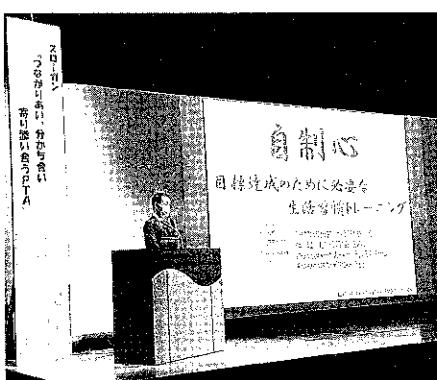
日々何気なく繰り返される生活習慣が子供たちの心を形成している。これが子供たちの心を形成していく。どういうことがよく伝わる講演でした。杉野様、本当にありがとうございました。

県PTA表彰

個人表彰

前壱岐市PTA連会長
立石祐司 様

広報誌コンクール表彰
鯨伏小学校PTA 様



講演後、杉野伸治さんにインタビューしました！

プロフィール

KARADA CONDITIONING

THANKS 代表

理学療法士

著書：「自制心 目標達成のために必要な生活習慣トレーニング」



壱岐のPTAは？

積極的に取り組んでいいと思います。

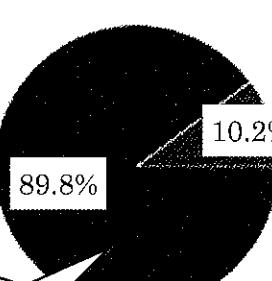
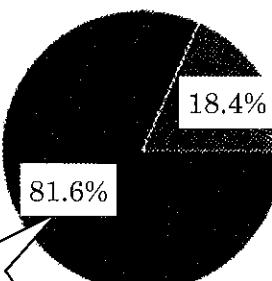
壱岐の印象は？

離島は進学等で早くに外に出ていかないといけないので、早く自立させないといけない場所。本土より加速度的に自立度を上げていかないといけないことに注目してはいかがでしょうか？

壱岐市PTA研究大会アンケート集計結果

研究大会に参加していかがでしたか？

講演はいかがでしたか？



各校PTAの活動の中で「会員に伝えたい」「取り組んでみたい」と思う内容はありましたか？

いいえ

17%

3.4%

79.6%

はい

どちらとも
言えない

お気づきやご意見

- ・杉野さんの講演や紹介された方の講演を今後も希望したい。
- ・オンラインだったので、自宅で子どもの様子を見ながら参加できた。今後もオンラインも併用できると、参加者が増えてよいのではないか。
- ・コロナ禍におけるPTA活動の在り方にについて、考えを共有したり、深められたりするといいと思った。



PTA活動紹介



志原小学校PTA

<親子・地域ラジオ体操>

早朝より学校・地域関係者約120名の参加がありました。

ARADA CONSTRUCTION



<保育教養部研修>

メディアとの関わり方を継続して研修しています。昨年度は杉野伸治先生を講師にお迎えし、今年度は池内教頭先生が講師となり、全校児童と保護者がいっしょに学ぶワークショップを開催しました。

<PTA奉仕作業>

夏休み終盤、暑い中、保護者・教職員・地域有志の皆様で学校周辺の草切り、溝上げ作業を実施しました。



若干緩和されたとはいえ、昨年度から引き続き、まだまだコロナ禍において様々な制限の中での活動となりました。小規模校ならではの特性を生かし、地域との連携・交流を図り、顔の見える関係を築き上げています。地域の代表、公民館、青年会、婦人会、老人会、まちづくり協議会など、幅広いコミュニティーの輪で、これからも継続して活動していきます。

郷ノ浦中学校PTA

子どもたちの活動を実現していくためのPTA活動

今年度の郷ノ浦中学校の文化祭は、『郷中声（ごうちゅううせい）～それぞれが輝く最高の舞台へ～』をテーマに開催されました。子どもたちは毎日一生懸命練習し、クラス全員でつくりあげた素晴らしい歌声でした。

毎年、壱岐の島ホールをおかりして開催しているため、会場のガイドラインに沿って人数制限をかけたうえで開催しなければなりません。本校では、マスク着用・検温・消毒・座席の間隔はもちろんのこと、各家庭の出席者を把握するため更に事前に配布された入場チケットと照合しながらの受付、割り込みや不正入場が無いよう番号順に誘導、また指定した出入り口以外からの入退場が無いよう警備、学年毎に時間を分けるなど徹底した感染予防対策を行いました。



このように徹底した感染症対策をPTAが中心となって行うことで、コロナ禍であってもPTA会員の協力を得ながら中止することなく、学校行事を実現できました。

子どもたちの健全な育成や学びにつながると考えPTA活動を行っています。

【編集後記】 全国的に新型コロナウイルスの第5波が落ち着きを見せていました9月が、私たちのスタートでした。そして、今、編集を行っているのは第6波真っ只中の2月。まだまだ長い戦いになりそうです。しかし、そんな状況下でも今回は、「やめる」ではなく、「やるにはどうするか」といった活動が、紙面の随所に表れています。変わりゆく時代とともにに対応していくなければならない学校・PTAですが、このような活動を糧に、前へと進んでいけたらと思います。広報部長はじめ、本誌の発行にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

市P 広報部一同